



# バリシップ2019 開催報告集

令和元年(2019年)  
5月23日(木)~25日(土)

BARI-SHIP 2019  
IMABARI MARITIME FAIR REPORT  
May 23 (Thu) – May 25 (Sat), 2019



## バリシップ2019 開催報告集

発行日 令和元年10月  
発行 今治市海事都市交流委員会  
(事務局 今治市商工振興課海事都市推進室内)  
印刷 株式会社ハラプレックス

今治市海事都市交流委員会  
IMABARI MARITIME CITY PROMOTION COMMITTEE



## CONTENTS

### 02 ごあいさつ

今治市海事都市交流委員会 会長 檜垣 幸人  
今治市長 菅 良二

UBMジャパン株式会社代表取締役社長 クリストファー・イブ

### 04 バリシップ2019 開催スケジュール

### 05 バリシップ2019 開催告知ポスター

### 06 バリシップ2019 開催に向けた活動

### 07 バリシップ2019 開幕

### 08 国際会議/特別セミナー

### 09 ウェルカムパーティー/バリシップ2019のテーマ

### 10 バリシップ展示会場/展示会場一般公開

### 11 工場見学会 (今治造船)

### 12 工場見学会 (新来島どつく)

### 13 工場見学会 (檜垣造船)

### 14 工場見学会 (潮冷熱)

### 15 工場見学会 (BEMAC)

### 16 バリシップサブイベント“海のわくわく大通り”

### 17 バリシップサブイベント“まちなかワイワイ広場”

### 18 バリシップ見学会参加者感想文 (小・中学生)

### 25 参加者まとめ

# ごあいさつ

GREETINGS



BARI-SHIP 2019 IMABARI MARITIME FAIR REPORT

今治市海事都市交流委員会

会長 檜垣 幸人



「バリシップ2019」が関係各位の多大なるご支援・ご協力のもと盛大に開催できましたことを、今治市海事都市交流委員会並びに地元海事産業界を代表いたしまして、厚くお礼申し上げます。

一時期の海運不況を脱し、近年の海運市況は回復基調にあります。2020年以降の燃料油規制をはじめとする環境規制強化への対応やIoT、ビッグデータを活用した海事ITの推進等、日本の海事産業は大きな転換期を迎えています。こうした状況のときにこそ、日本最大の海事都市今治から、海事産業界の方向性を示し、持続可能な発展に貢献すべく、今治市海事都市交流委員会の委員全員が一致団結し、精力的に「バリシップ2019」の開催準備を進めて参りました。

「バリシップ2019」では、16の国と地域から過去最多の350社もの出展をいただいた展示会に加え、各海事関係団体・海事関係教育機関のご協力をいただき実施しました体験学習型展示イベント、eスポーツやライブステージ、グルメブースの出店などによるまちなかでの賑わい創出イベントを実施し、海事関係者・一般のご来場者を問わずお楽しみいただける内容で皆様をお迎えし、大盛況のうちに無事終えることができました。

今回の「バリシップ2019」では、100社以上の出展ブースで新製品を紹介いただき、「バリシップ2019」のテーマである「海事IT」と「環境保全(大気・海洋)」に対応した最先端の技術が今治に集結しました。国際会議や特別セミナーでもこれらをテーマとしたものが数多く開催され、海事産業界が進むべき方向性を示すことができたと感じております。

「バリシップ2019」の最終日に実施いたしました「バリシップ見学会」では、業界関係者の皆様にご尽力いただき、市内の小中学生の皆さんをはじめ、一般の方にも多数ご来場いただき、お楽しみいただきました。

造船、船用工業5社のご協力をいただき実施しました工場、新造船見学会は、来場者が9,000人を超える大盛況となり、今治の海事産業の魅力を多くの皆様にお伝えし、今治市海事都市交流委員会が大きな目的の一つとして掲げています「次世代の海事人材育成」に大きな成果を上げたと感じています。

また、バリシップ期間中に、国土交通省海事局が推進するC to Seaプロジェクトアンバサダーとして活躍しているアイドルグループ「STU48」の船上劇場「STU48号」が愛媛県で初めて今治港に寄港し、多くの方が「バリシップ」と海事産業に興味を持ってもらうきっかけを作ることができたと確信しております。

この度過去最大の規模で開催されました「バリシップ2019」の様子を皆さんとともに振り返り、次のステップへ踏み出すため、報告集を発刊する運びとなりました。

「バリシップ」が、大きな転換期を迎える海事産業界の新たな一歩を踏み出す活力となり、更に発展していくことを心より祈念しております。

今後とも皆様の変わらぬご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

今治市長  
菅 良二



令和元年5月に日本最大の海事都市今治におきまして、6回目の「バリシップ」が開催され、大盛況のうちに幕を閉じました。開催にあたりご支援・ご協力を賜りました関係者の皆様とご来場いただきました皆様に、心より感謝申し上げます。

「バリシップ」は回を重ねるごとに世界各国での認知度も高まっており、「バリシップ2019」では、出展社数、来場者数とも過去最高となり、出展社は海外からの83社を含め計350社、来場者も16,259人に上りました。毎回、「バリシップ」がその規模を拡大し、西日本最大の国際海事展として発展を続けているのも、日頃より今治の海事産業を支えていただいている皆様方のおかげと感謝しております。

海運・造船・船用工業をはじめとする海事産業は、今治市の経済・雇用を支える重要な基幹産業であり、今治市では、この「バリシップ」を、海事産業の発展と国内外への発信、市民への海事産業の認知と理解促進の観点から重要な取組であると位置づけ、積

極的に支援をしております。

今回の「バリシップ2019」でも、最終日の25日に今治市海事都市交流委員会と産官連携で「バリシップ見学会」を実施しましたが、展示会場や造船・船用工業の工場見学には多くの子どもたちが集まり、海事産業を「見て」、「触れて」、「学んで」もらうことができました。

また、23、24日のビジネスデーには、初めての取組として、大学・短大・高専の学生を展示会場や工場に招待し、今治の海事産業のスケールの大きさを肌で感じてもらいました。

これらの取組が、必ずや「次世代の海事人材の育成」につながり、今治の海事産業の発展に結びついていくものと確信しております。

最後になりますが、「バリシップ2019」の開催にあたりご尽力いただきました関係者の皆様とご来場いただきました皆様の益々のご発展を衷心より祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

UBMジャパン(株) 代表取締役社長

クリストファー・イブ



初めに「バリシップ2019」の開催にあたり、ご協力いただきましたすべての方々に、心よりお礼申し上げます。

今回の「バリシップ」は、展示規模、出展社数、来場者数、いずれも過去最高を記録しました。5月23日から25日の3日間で、展示ホールとセミナールームにおいて、連日さまざまなイベントが行われました。また「海事プレス社」主催による日本を代表する海事業界関係者による講演「国際会議」にも、多くの聴講者にご参加いただき、おかげさまで高い評価を受けております。

「バリシップ」は日本の造船技術、海事技術を一堂に集め、海事産業の重要な国際展示会としての役割を担っています。海外からの来場者が増加するに伴って、主催者として「バリシップ」を開催することで、今治市は日

本の海事業界の中心地であることを、全世界にアピールできていると感じています。

このイベントを開催するにあたり、「バリシップ」および今治市のPRに加えて、ご参加いただいた学生達が、「造船」と「海運」という仕事に興味を持ってくれること、そして将来関わっていただける事を私は願っています。そのためにも、国内外の海事関係者だけではなく、もっと幅広い年齢層や業界にアプローチできる展示会にしてまいります。

「バリシップ2019」の成功のために貴重なご助言、ご協力、そしてご支援をくださった方々へお礼を申し上げますとともに、私はすでに2021年5月に開催される次回「バリシップ2021」の会場で、皆様にお会いできることを心から楽しみにしています。

# バリシップ2019開催スケジュール

BARI-SHIP 2019 SCHEDULE

# バリシップ2019

開催報告集

BARI-SHIP 2019 IMABARI MARITIME FAIR REPORT

日程	行事名	内容	時間	場所	
23日 (木)	バリシップ2019	開会式	9:30~10:00	テクスポート今治	
		バリシップ2019展示会	10:00~17:00	テクスポート今治・旧今治コンピュータカレッジ・フジグラン今治	
		海のわくわく大通り	10:00~16:00	フジグラン今治1階 モール・センターコート	
		バリシップ2019国際会議	12:45~15:30	今治国際ホテル2階 クリスタルホール	
		特別セミナー	10:10~16:40	旧今治コンピュータカレッジ2階 特別セミナー会場	
		ウェルカムパーティー	18:30~20:30	今治国際ホテル2階 クリスタルホール	
	「C to Sea プロジェクト」 コラボ事業	船上劇場「STU48号」今治港入港歓迎式	16:00~16:30	今治港(中型フェリー埠頭)	
		STU48によるバリシップ2019 ウェルカムステージ	17:40~18:00	今治国際ホテル1階 ロビー	
		まちなか ワイワイ広場	eスポーツ体験イベント	13:00~16:00	どんどび芝っち広場 ドンドビジョン
			ステージイベント(中浦宏美ほか)	17:00~18:00	どんどび芝っち広場 特設ステージ
ステージイベント「BARI-SHIPカップ」	18:00~20:00		どんどび芝っち広場 特設ステージ・ドンドビジョン		
24日 (金)	バリシップ2019	バリシップ2019展示会	10:00~17:00	テクスポート今治・旧今治コンピュータカレッジ・フジグラン今治	
		海のわくわく大通り	10:00~16:00	フジグラン今治1階 モール・センターコート	
		バリシップ2019国際会議	10:00~16:30	今治国際ホテル2階 クリスタルホール	
		特別セミナー	10:10~14:20	旧今治コンピュータカレッジ2階 特別セミナー会場	
		今治地区海運組合講演会	14:40~16:40	旧今治コンピュータカレッジ2階 特別セミナー会場	
	「C to Sea プロジェクト」 コラボ事業	船上劇場「STU48号」一般公開	10:00~16:00	今治港(大型フェリー埠頭)	
		STU48ミニステージ	17:30~18:00	どんどび芝っち広場 特設ステージ	
	まちなか ワイワイ広場	eスポーツ体験イベント	13:00~16:00	どんどび芝っち広場 ドンドビジョン	
		ステージイベント「BARI-SHIPカップ」	18:00~20:00	どんどび芝っち広場 特設ステージ・ドンドビジョン	
		グルメイベント(FC今治グルメストリート・ 肉肉肉グルメ市場・Oikura酒場)	13:00~21:00	どんどび芝っち広場 芝生広場	
バリシップ2019		バリシップ2019展示会(一般公開日)	10:00~16:00	テクスポート今治・旧今治コンピュータカレッジ・フジグラン今治	
	海の特別講演会	11:00~12:30	旧今治コンピュータカレッジ2階 特別セミナー会場		
	海のわくわく大通り	10:00~16:00	フジグラン今治1階 モール・センターコート		
25日 (土)	バリシップ2019 見学会	工場・新造船見学会	9:00~14:30	今治造船今治工場・新来島どっく大西工場・ 檜垣造船波方工場・BEMACみらい工場・ 潮冷熱新都市工場	
		ステージイベント(中浦宏美・あべまりな・ Do-cダンスステージほか)	16:00~18:00	どんどび芝っち広場 特設ステージ	
	まちなか ワイワイ広場	eスポーツステージイベント(ウイニングイレブン プロ選手・FC今治・サッカー大好き芸人出演)	18:00~20:00	どんどび芝っち広場 特設ステージ・ドンドビジョン	
		グルメイベント(今治Oikura市場、FC今治 グルメストリート、Oikura酒場)	10:00~21:00	どんどび芝っち広場 芝生広場	
26日 (日)	姉妹都市パナマ市 創立500周年 記念事業	パトリシア・プリエグコンサート2019	15:00~16:30	今治市中央公民館文化ホール	
		パナマデーin今治	13:00~17:00	今治国際ホテル2階 「マーガレット」	

# バリシップ2019開催告知ポスター

BARI-SHIP 2019 ANNOUNCEMENT POSTER

# バリシップ2019

開催報告集

BARI-SHIP 2019 IMABARI MARITIME FAIR REPORT

国際海事展は5月23日(金)~25日(土) バリシップ 5月25日(土)  
バリシップ見学会は1日限り 見学会

会場: テクスポート今治ほか

見て 触れて 学べる

5/25(土) 5/23(金)~25(土) 5/25(土)

バリシップ会場 一般公開 海のわくわく大通り 工場見学会  
まちなかワイワイ広場

問合せ先 今治市海事都市交流委員会事務局 (今治市農工局隣内) 〒794-8511 愛媛県今治市別荘町一丁目4番地1  
TEL 0898-36-1540 FAX 0898-25-2961 E-Mail kajj@imabari-city.jp https://www.city.imabari.ehime.jp/kajj/bariship2019/  
バリシップ見学会主催/今治市海事都市交流委員会 同共催/今治市、今治市教育委員会、UBMジャパン 同助成: 日本財団  
バリシップ2019主催/UBMジャパン(株) 同後援/国土交通省、(一社)日本船主協会、日本内航海運組合総連合会、(一社)日本造船工業会、(一社)日本船舶輸送協会、(一社)日本船用工業会、(一社)日本海事協会、(一社)日本海運業協会 同特別後援/今治市、今治市海事都市交流委員会

バリシップ2019の最新情報は Facebookもチェック!  
https://www.facebook.com/imabari/kajj

# バリシップ2019 開催に向けた活動

ACTIVITY FOR HOLDING BARI-SHIP 2019 IMABARI MARITIME FAIR

## バリシップ2019開催発表



### ■世界に向け「海のまち・今治」を発信

平成30(2018)年4月、東京で開催された国際海事展「SEA JAPAN2018」で正式に「バリシップ2019」の開催発表を行い、あわせて「海事都市今治」ブースにて本格的な開催プロモーション活動を開始しました。

「海のまち今治」は、国内はもとより広く海外の海事関係者も熱い視線を送る世界有数の海事クラスターを擁しており、注目度も年々向上しています。

それらを裏付けるように、開催発表記者会見をはじめ、会場の内外でバリシップ開催に対する期待の声が数多く寄せられたほか、ブース出展を求める業界関係者からの声も回を追う毎に増加しており、今回で6回目を数える「バリシップ」は、国際的にもメジャーな海事展として、今や確固たる地位を築いたことをより強く実感するようになりました。



## プレイベント「こどもバリシップ」



### ■バリシップ開催を市民に広くPR

バリシップ開催前年に、開催告知を目的として行われる恒例のプレイベント。今回はバリシップ展示会場の地元にある吹揚小学校を舞台に、「小学生のための海の王国～こどもバリシップ～」と題し、子供向けの体験学習イベントを開催しました。

実施にあたっては、市内海事関連機関や教育機関を中心に、見て・触れて・学べる、海に関する体験学習メニューの提供をお願いしました。

#### 【出展協力団体一覧】

<市内企業・団体>今治市海事都市交流委員会造船部会、今治造船株式会社、株式会社新来島どっく、渦潮電機株式会社(現:BEMAC株式会社)、潮冷熱株式会社、真鍋造機株式会社、(協力)四国開発フェリー  
<市外企業・団体>アクアシステム株式会社、川崎重工業株式会社、株式会社木幡計器製作所、SONOVY、東株株式会社、ロボティクスラボ  
<大学>愛媛大学工学部附属船舶海洋工学センター、愛媛大学沿岸環境科学センター、国立波方海上技術短期大学校  
<高校>愛媛県立今治西高等学校、岡山県立玉野高等学校、甲南中学校・高等学校



## 東京PR活動



### ■今治海事クラスターの底力をアピール

平成31(2019)年2月、国土交通省をはじめとした東京の海事関係機関において、今治市海事都市交流委員会のメンバーが揃って「バリシップ2019」のPR活動を実施しました。

数多くの報道機関が集まる中、約3か月後に迫ったバリシップ開幕に向けて、「オール今治」で取り組む意気込みについて、積極的に情報発信を行いました。



# バリシップ2019 開幕

BARI-SHIP 2019 OPENING

## オープニングセレモニー



### ■過去最大規模でバリシップ開幕

今回で6回目を迎えたバリシップ。日本のみならず、海外でも高い認知度を誇るようになった西日本最大の国際海事展「バリシップ2019」は過去最高の規模と熱気の中、令和元(2019)年5月23日、ついに開幕の日を迎えました。

クリストファー・イブUBMジャパン(株)代表取締役社長による開会の挨拶から始まったオープニングセレモニー。開場を待ち侘びた参加者の熱気があふれ、ボルテージは最高潮に。地元吹揚小学校の児童2名も参加したテープカットの後、3日間の会期がついに始まりました。



## 船上劇場「STU48号」 愛媛初寄港



### ■より多くの人と海とつながるために

バリシップ展示会場で華やかなオープニングセレモニーが開催された5月23日、瀬戸内7県を拠点に活躍するアイドルグループ「STU48」の船上劇場「STU48号」が、「バリシップ2019」開催を記念し、愛媛県で初めて、今治港大型フェリー埠頭へ入港しました。

「STU48」は、国土交通省海事局が進めている国民と海との接点を広げる取り組み「C to Seaプロジェクト」のアンバサダーとして活躍している縁から、バリシップを通じた海事啓発の一環として、バリシップ2019開催にあわせた「STU48号」の今治港寄港が実現しました。

午後4時からは、今治市海事都市交流委員会並びに今治市港湾振興協会など、今治を代表する海事関係者のほか、四国運輸局、愛媛県などより来賓を招いて、今治港入港歓迎式を実施。風光明媚な来島海峡大橋をバックに開催した今回の式典、たいへん印象深いものとなりました。



### ■バリシップ2019の開催目的

- ①トレードショーを核としながら「一大海事産業の現場を擁する今治らしさ」を前面に出した国際海事展を開催し、海事都市今治から先進の技術を発信する。
- ②次世代の海事人材育成を目指した海事啓発イベントを行う。
- ③5月25日は今治を海事一色に染める。
- ④バリシップ2019で海事産業が元気に!!

# 国際会議／特別セミナー

INTERNATIONAL CONFERENCE / SPECIAL SEMINAR

## バリシップ国際会議



### ■ 海事トップらが示す

#### 日本の海事クラスターの「羅針盤」

5月23、24日の2日間にわたって今治国際ホテルで開催された恒例の国際会議は、今回も全国各地から造船・船用・海運の各分野のトップがパネラーとして今治に集い、本市海事クラスターの代表と共に登壇しました。

先行きが不透明な世界経済の現状にあって、転換期を迎えつつある日本の海事クラスター。それぞれに熱いディスカッションが繰り広げられた今回も、数多くの海事関係者が聴講し、参加者は延べ1,200人にも達しました。



造船パネルディスカッション

船用パネルディスカッション

船主パネルディスカッション

また、恒例の基調講演は、川崎汽船の明珍幸一社長、そして特別講演は、みずほ銀行の藤原弘治頭取と三菱商事の小林健会長という日本経済を牽引するリーダーが揃い、「日本最大の海事都市今治」が持つ影響力の大きさを再確認することができました。



川崎汽船 明珍幸一社長

みずほ銀行 藤原弘治頭取

三菱商事 小林健会長

## バリシップ特別セミナー



### ■ 熱気あふれる講演会・セミナー会場

バリシップ展示会場でも、海事業界を取りまく最新トレンドや課題をテーマとした講演会やセミナーが連日

開催されました。

特に、今治地区海運組合主催の内航海運をテーマとしたセミナーでは、「最近の内航海運を取り巻く課題」と題した日本内航海運組合総連合会理事長の加藤由起夫氏による講演や、本市内航海運の代表と国土交通省の飯塚秋成内航課長らと交えたパネルディスカッションなどが実施され、定員を大幅に上回る174名の来場者があり、大盛況となりました。



内航海運パネルディスカッション

## バリシップ招待事業 参加者向けミニセミナー



### ■ 「バリシップビギナー」向けガイダンス事業

今回のバリシップでは、5月23、24日のビジネスデーに、県内の大学、短大、高等専門学校をバリシップ展示会に特別招待しました。

初めてのバリシップ見学となる学生に、まず「日本最大の海事都市今治」の成り立ちや現状、バリシップ展示会場の「まわり方」などを理解してもらうため、地域史研究家で海事関連に造詣が深い大成経凡氏を講師として迎え、フジグラン今治1階・センターコートでミニセミナーを開催しました。

バリシップ展示会場でBtoBの現場に触れ、海事業界のダイナミズムを実感した彼らが、近い将来、今治の海事クラスターを支える人材となっていくことを期待してやみません。



セミナーの様子(講師:大成経凡氏)

# ウェルカムパーティー

WELCOME PARTY

## ウェルカムパーティー



### ■ 海事都市今治の総力を挙げ歓迎

海事関係者を対象としたウェルカムパーティーは、今治市海事都市交流委員会の主催で実施するバリシップの交流会です。国内のみならず、世界各地の海事関係者が集まるバリシップ。和気あいあいとした雰囲気の中で情報交換や懇親を深めてもらうことを目的としています。

今治国際ホテルで行われたパーティーには1,000人を超える参加者が集まり、バリシップ初日の夜は大いに盛り上がりました。



ドアオープン



主催者代表挨拶  
檜垣 今治市海事都市交流委員会会長

来賓代表挨拶  
菅 今治市長



アトラクション



乾杯  
檜垣 今治商工会議所会頭

中締め挨拶  
菅我 今治市海事都市交流委員会副会長

# バリシップ2019のテーマ

BARI-SHIP 2019 THEME

### ■ 海事IT

船舶の航海に関わる膨大なデータを効率よく一元管理できるプラットフォームを確立・解析していくITの導入が、船舶の安全運航の確保や運航コストの削減のためにも必要不可欠となってきます。今年のバリシップではその海事ITをテーマの一つとしており、最先端技術の動向を紹介する特別セミナーも開催され、多くの聴講者を集めていました。

### ■ 環境保全(大気・海洋)

国際的な船舶の燃料油硫黄分濃度の規制強化の開始を2020年に控え、環境保全は海事関係者にとって大変興味深いテーマの一つとなっています。多くの出展企業が環境規制に対応した最新鋭の機器類を展示し、

環境への影響が少ない燃料や省エネ技術など、積極的なプロモーション活動が繰り広げられていました。



# バリシップ展示会場

BARI-SHIP EXHIBITION VENUE

# バリシップ2019

開催報告集

BARI-SHIP 2019 IMABARI MARITIME FAIR REPORT

# 工場見学会 (今治造船)

FACTORY TOUR (IMABARI SHIPBUILDING)

# バリシップ2019

開催報告集

BARI-SHIP 2019 IMABARI MARITIME FAIR REPORT

## 西日本最大の国際海事展



### ■地方開催としては出色のスケール

今回で6回目となるバリシップは、出展社が過去最多の350社となったほか、5月23、24日のビジネスデーの入場者数も過去最高を記録。海外からの出展も83社を数え、ますます国際色豊かな海事展となりました。

バリシップ2019会場図 会場使用面積 3,452m



## 今治工場見学会



### ■造船所を丸ごと見学

今治造船今治工場の工場見学会は、造船所で行われる式典を模擬体験できるイベントが開催されることが特徴の一つです。新造船の進水命名式で行われる支綱切断の模擬体験や餅まきなど、本番さながらのスケールと雰囲気、緊張感までもがリアルに再現され、関係者以外は立ち入ることすらしない貴重な瞬間を、疑似的に体験することができます。

さらに、造船所の施設や設備を活用したアイデアがいっぱいに詰まったアトラクションも、工場見学ならではの体験です。工場建屋の天井クレーンを使ったUFOキャッチャーや子どもでも安全に扱えるよう工夫された溶接体験などのほか、普段は絶対に立ち入ることができないドック渠底(きよてい)の見学や、高所作業車への乗車体験、波止浜湾のクルージングなどバラエティ豊かなアトラクションが、広い構内の各所で提供されており、参加者は造船所の総力を挙げての「おもてなし」を満喫することができました。



# 展示会場一般公開

OPEN TO PUBLIC



※バリシップ見学会シャトルバスは、「国土交通省 四国運輸局」および「一般社団法人日本中小型造船工業会」の助成を受けて運行されました。

## 世界で唯一 市民参加型の国際海事展



### ■次世代の「担い手」育成に向けて

バリシップ2019の最終日となる5月25日は、「バリシップ見学会」の実施日で、普段は招待客しか入ることのできない展示会場が一般公開されました。

今や海事展として世界有数のスケールを誇るようになった「バリシップ」。その開催目的の一つ、「次世代の海事人材育成」を目指した海事啓発イベントとして行われる「バリシップ見学会」は、今治海事クラスターのダイナミズムを誰もが実感できるイベントであり、世界で唯一、この今治でしかできないイベントです。

前日までは熱心な商談が行われていた展示会場ですが、この日は子ども向けイベントも多く実施されました。操船シミュレーターで船の操縦体験をしたり、ろうそくの炎で進む「ポンポン船レース」を楽しんだり。

今治市海事都市交流委員会では、子どもたちに海や船への関心を持ってもらうため、海事都市今治を「見て」「触れて」「知って」もらう取り組みを行っており、市民参加型という唯一無二のコンセプトは、多くの市民や子どもたちの熱い支持と期待を受け、大盛況のうちに幕を閉じました。



# 工場見学会 (新来島どっく)

FACTORY TOUR (SHIN KURUSHIMA DOCKYARD)

## 大西工場見学会



### ■巨大船の建造過程を間近で体感

普段は広大な敷地で様々な船が建造されている新来島どっく大西工場。今回は船造りの現場を間近で体感し学習できる見学コースが用意されました。

普段は造船所の作業員やスタッフしか入ることができないドック渠底から見上げると、そこには巨大な船体ブロックが青く晴れ渡った空を覆い隠すようにそびえており、来場者はそのスケールの大きさに、皆感嘆の声を上げていました。

さらに見学コースには、船体に据え付ける前の居住区や巨大船の心臓部にあたる巨大な主機(ディーゼルエンジン)も展示されていました。

船のできる過程を、実物を見ながら体感できる見学会は、「海のまち今治」ならではの貴重な経験となりました。



# 工場見学会 (檜垣造船)

FACTORY TOUR (HIGAKI SHIP BUILDING)

## 波方工場・新造船見学会



### ■引き渡し間近の船を見学

間もなく引き渡しを迎える新造船の見学も行われた檜垣造船波方工場。艦装岸壁やブロック製作工程のある工場内は、船台・ドックとは一味違った迫力ある体験ができました。

瀬戸内海中央部に突き出した高縄半島、その先端部に位置する今治市波方町に波方工場があります。斎灘(いつきなだ)を行き交う数多くの船舶が一望できるロケーションで、最終仕上げにあっている新造船を見学しました。

あと数日で大海原に出ようとしている完成間近の船の内部では、見学者が造船所スタッフの皆さんの丁寧な説明に耳を傾け、技術的な困難さや醍醐味を、まさしく「船づくりの現場」で学習することができました。

そのほか、ブロック製造工場の見学や高所作業車の乗車体験、さらには緊急避難艇の展示もあって、広い工場内を思う存分堪能できる見学会でした。



# 工場見学会 (潮冷熱)

FACTORY TOUR (USHIO REINETSU)

## 新都市工場見学会



### ■スタンプラリーでオフィスと工場を見学

スタンプラリーで本社オフィスや工場を隈なく回る潮冷熱新都市工場の見学会。明るく機能的なつくりのオフィス内部も見学コースに組み入れられており、見学者はここで、今治海事クラスターが世界中の海事関係者をビジネスパートナーとしていることを実感し、また、そのスケールの大きさについて、主体的に学び、理解を深めることができる工夫がなされています。

工場内部の見学コースでは、同社が船舶マーケットで国内No.1のシェアを誇る空調・冷凍機の製造現場が公開されていましたが、冷凍装置でなぜ冷えるのか？という冷凍機の原理・メカニズムについて、子ども・大人問わず分かりやすく学習できるよう、丁寧な説明がなされていました。

さらに敷地内では、バルーンアーティストによるステージやエア遊具、キッチンカーなど、バラエティ豊かな催し物が企画されており、子どもから大人まで一日飽きることなく楽しめる見学会となりました。



# 工場見学会 (BEMAC)

FACTORY TOUR (BEMAC)

## みらい工場見学会



### ■電気役割がわかる見学会

BEMACみらい工場では、船舶内部の電気設備全般の制御や配電を行う機械を製造しています。船舶内で必要とされる電気機器のみならず、搭載されているエンジンや操舵機などの制御に、電気は欠かすことのできない存在です。世界的にも大きなシェアを占めている同社の監視盤や制御盤は、世界中の海で、今この瞬間も休まず活躍を続けています。

未来の船舶をイメージしたひとときわ目立つ特徴的な外観を持つみらい工場では、それら最先端機器を製造しており、見学者は工場内で同社スタッフからの丁寧な説明を受け、電気制御機器の果たす役割とその重要性について、理解を深めることができました。

また体験型見学施設「みらいミュージアム」では、操船シミュレータ体験など子どもから大人まで楽しめるアトラクションや、船舶に搭載される機械類などの貴重な展示物も一般公開されたこともあり、年代を問わず多くの見学者が楽しめる内容となっていました。

さらに屋外では電動三輪自動車の試乗体験もあり、スマートでかわいらしい外観からは想像できないパワフルで爽やかな走りに、世代を問わず歓声が上がっていました。



「海のわくわく」の詰め合わせ



■海の体験学習が一堂に

今治海事都市構想の基本方針の一つである「次世代の海事人材の育成」。今回のバリシップでは、展示会場に隣接するフジグラン今治のご厚意で、同店1階ショッピングモールおよびセンターコートイベントスペースをご提供いただき、バリシップ見学会に参加する多くの子ども達や保護者に、さらなる海事知識の普及・啓蒙を図るべく、市内外の海事関係機関等と連携して、「海のわくわく」がたくさん詰まった体験学習ができる展示ブースが設けられました。

「海のまち今治」を育んだ来島海峡の航路(西・中・東・来島ノ瀬戸)に見立てて出展エリアを設定し、地域の教育機関や海事関連機関などのご協力により、最新技術を分かりやすく実学習できる体験型アクティビティやセミナースペースを設置していただき、バリシップ開催期間、子ども連れを中心に多くの参加者で賑わいました。

【出展協力団体一覧】

国立波方海上技術短期大学校、岡山理科大学今治キャンパス、愛媛大学工学部附属船舶海洋工学センター、東海大学海洋学部、弓削商船高専、新居浜高専、今治工業高等学校機械造船科、愛媛県立愛媛中央産業技術専門学校、今治地域造船技術センター、国土交通省海事局、今治海洋少年団、公益財団法人日本海事広報協会、今治海上保安部、凸版印刷株式会社(14団体・社、順不同)



Supported by THE NIPPON FOUNDATION  
※海のわくわく大通りは、「日本財団」の助成により実施しました。



バリシップ交流促進イベント



■展示会場の賑わいをまちなかで

バリシップ開催期間中、日本はもとより、世界各地からも多くの海事関係者が今治に集まってきます。

本イベントでは、バリシップ期間中の熱気あふれる展示会場の雰囲気そのままに、今治市街地の中心部、ドンドビ交差点横の「芝っ広場」において、バリシップ展示会来訪者向けのおもてなしをコンセプトとして、会期中の3日間、大型屋外ディスプレイ「ドンドビジョン」を活用したeスポーツイベントをはじめ、ステージイベントやグルメブース出店など、賑わい創出を目的とした多彩な催しが実施されました。

また、今治市海事都市交流委員会がマッチスポンサーを務める縁で、サッカーJFL所属のFC今治にもステージイベントやテントブースの企画・運営にご協力いただいたほか、今治市で活躍する地域おこし協力隊を通じて、地域資源を活用したテントブースの出店者を募集するなど、今までバリシップへあまり関与されてこなかった人たちにも積極的に声掛けを行い、盛り上がりに一役買っていただきました。

本会場では、おもてなしイベントを通じた今治市民と展示会来訪者の交流促進というコンセプトを併せ持っていたことから、今治市民にも積極的な参加を呼びかけ、たくさんの方にご来場いただきました。バリシップの盛り上がり市民の間にも広く共有されることで、「日本最大の海事都市今治」が示す存在感をしっかりと感じ取ってもらうことができました。



  
 とまわしやがっこう 常盤小学校 1年生

ぼくはバリシップにいきました。  
 せんちょうになってふねのBコー  
 スをうんてんした。ふねとふねのあいだをうんて  
 んするのがむずかしかった。でもちゃんとゴール  
 についたのがうれしかった。もっとじょうずにう  
 んてんしたい、とおもった。  
 またバリシップにいきたいです。

  
 なみあたしやがっこう 波方小学校 1年生

わたしははじめてバリシップにい  
 きました。  
 ふねにのってちかくでエンジンをみました。  
 とてもおおきかったよ。  
 ビーマックででんきじどうしゃにのったよ。  
 スピードがでてきたのしかったよ。  
 またいきたいな。

  
 とみたしやがっこう 富田小学校 1年生

ぼくはふねがだいすきなので、  
 ふねのそこをみれたのが、うれし  
 かったです。  
 ふねのそうじゅうたいけんできてたのしかっ  
 たです。

  
 とりうしやがっこう 鳥生小学校 2年生

ふねをつくっている今ぱりぞうせ  
 んへ見学に行きました。  
 こうじょうでは、212mのおおきさのふねをつ  
 くっているとちゅうでした。  
 そのふねを下から見ました。ゴールデン  
 ウィークに丸しゅうへいったときにのったふねよ  
 りも大きくてびっくりしました。  
 水の中に入ったようなたいけんもできました。  
 おとうとといっしょにのれたのしかったです。

  
 まくわしやがっこう 桜井小学校 1年生

ビーマックで、でんどうろりんじ  
 どうしゃにのりました。  
 まどがなくてかぜもきもちよかったです。  
 ひがきぞうせんではおおきいふねにのりま  
 した。スタンプラリーもたのしかったです。  
 テクスポーツにはひとがたくさんいました。  
 かいしゃがたくさんありました。そこでふねの  
 そうじゅうやくレーンのシミュレーションをし  
 ました。  
 おおきくなったらほんものをうごかしてみたい  
 です。おふねをつくるしごとをしてみたくなり  
 ました。

  
 のましやがっこう 乃万小学校 2年生

今治ぞうせんで見えたふねの先  
 がほそくてとんがっていてふしぎ  
 でした。  
 どうしてそんなかたちをしているのかきけば  
 よかったです。つぎにいったときはきいてみた  
 いです。  
 うしおれいねつではふうせんゲームをしまし  
 た。みたことないくらい大きなふうせんでした。  
 スタンプラリーはぜんもんせいかいすると  
 おいしいひるごはんをもらえました。  
 バリシップはふねを作るかいしゃをみちか  
 にかんじられてとてもたのしかったです。

  
 ひだかしやがっこう 日高小学校 2年生

わたしのおとうさんは、ぞうせん  
 かんけいのおしごとをしています。  
 おふねのことをしりたくてさんかしました。  
 1ばんびっくりしたことは、さいごにいった新く  
 るしまどっく大にしこうじょうです。作りかけのふ  
 ねがあって、ふねのそこから見上げました。大き  
 なプロペラもありました。きょじゅうくといって、  
 そうじゅうせきやふねではたらく人たちがねたり  
 するところは、べつのこうじょうで作ってふねでは  
 こんでくることもはじめてしりました。すべてがト  
 ンやメートルと知らないたんいでしたが、おおき  
 くておもたいことは見てすぐにわかりました。  
 今かいは、ふねの中は見られなかったのでつ  
 ぎは中も見てみたいです

  
 はしはましやがっこう 波止浜小学校 2年生

5月25日バリシップにいきました。  
 ぼくがーばんおどろいたことは、  
 ふねがとても大きかったことです。  
 ちかくで見れたので、ワクワクしました。あんな  
 大きなふねを人がつくっていることはとてもす  
 ごいことだと思いました。  
 またつぎもいきたいな。

  
 まくわしやがっこう 桜井小学校 3年生

はじめにBEMACに行きました。ふ  
 ねの中とかにきけんがないか調べ  
 る会社です。  
 いろいろなきかいがあって、きかいをあやつ  
 るときに「むずかしそうだな」と思いました。き  
 かいをあやつるクレーンがありました。  
 つぎにひがきぞうせんに行きました。船を  
 作っている会社です。はたらいっている人が1000  
 人いじょうもいてそんなにすごいおしごとなんだ  
 と思いました。船の中にはきゅうなかいだんや1  
 人1人のへやがありました。せんすいかんもあり  
 ました。おじさんが、「船はプロペラで少しずつ  
 うごくんだよ」と教えてくれました。

  
 はしはましやがっこう 波止浜小学校 3年生

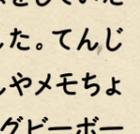
わたしは、ぞうせんじよで船を見  
 た時に大きいなと思いました。  
 いままでは船のことはぜんぜんしらなかつたけ  
 どたくさんの方にやくだつんだなと思いました。  
 船を作っているのもすごいなと思いました。今度  
 また船を見たらじっくり見てみたいと思います。

  
 たちはなしやがっこう 立花小学校 3年生

船の中に何があるか、どうなっ  
 ているのかを知れてよかったです。  
 そうじゅう室でどうやってそうじゅうしている  
 かや、今どこにいるか分かる機かいが見れて良  
 かったです。  
 どうやってつものいたをまげているのかや、重  
 さはどのくらいなどを知りました。

  
 くわしやがっこう 九和小学校 3年生

最初に「うしおれいねつ」に行  
 きました。スタンプラリーのクイズ  
 のとき、ゴール後にフライドポテトをもらいま  
 した。スタンプラリーをしなが、工場見学が  
 でき、楽しかったです。  
 次に、てんじ会場に行きました。ポンポン船  
 レースをやっていたり、ラグビーボールをあな  
 に入れるとけい品がもらえるゲームをしていたり、  
 たくさんコーナーがありました。てんじ  
 コーナーを回って、たくさんのおかしやメモチよ  
 うなどをもらいました。わ投げやラグビーボ  
 ールを投げ、ポンポン船レースをすることができ  
 ました。友達とたくさん回ることができ、とても  
 楽しかったです。

  
 まくわしやがっこう 桜井小学校 3年生

最後にひがき造船に行きました。進水式の時  
 につかうテープカット体験をさせてもらいまし  
 ました。また、できたばかりの新しい船の中を見学さ  
 せてもらいました。めい路みたいでおもしろかつ  
 たです。高所作業車にも乗せてもらいました。25m  
 くらいの高さまで上がり、しまなみの大橋や遠く  
 まで見ることができ、とても楽しかったです。  
 バリシップに参加してとてもよかったです。

このイベントをして、海や船はとて大切なものなのがありました。

とくにおどろいたものが、うしおれいねつのもので、1台でエアコン45台分くらいひえてしまうくらいです。とてもおおきくてすごかったです。しょうらい船を作りたいなと思いました。



バリシップは、とてもたのしくていろいろなことをまなびました。

みらい工場には、いろいろな部品があって船で何かあったときに大かつやくするきかいが大きくていちばんすごかったです。

新来島どつくで船がうかぶか調べる方法にびっくりしました。海から水を入れるのは、よそう外でした。

つぎにテクSPORTにいきました。そこには、水中ドローンや船の中にあるポンプがありました。ほかにも水をきれいにするポンプもありました。ゲームもありました。一日中とてもたのしかったですし、船のべんきょうもできました。



止まっている船に乗りました。中には、見たことのないきかいがありました。

大きさは、小さい物から、大きな物まで、しゅるいはさまざまでした。船から見える、しまなみ海道はとてもきれいでした。

いろいろな船のメーカーが集まる所では、DAIHATSUや、ひがきぞうせんなど、いろいろなメーカーが来ていました。部品を作る会社や、コンピューターを作る会社など、船の仕事だけでもたくさんの仕事があることを知りました。

VRで船のけしきを見ました。下を見ると、そのけしきは、とてもこわかったです。あのけしきを見ながら仕事をしているなんてすごと思いました。



ぼくは、バリシップ工場見学会にさんかしました。

ぼくらのバスにはやく30人くらいいました。はじめに、新来島どつくに行きました。

大きな船がたくさんありました。工場の中は、とても広く、大きなきかいがたくさんありました。船は、いろいろな部品を重ねて組み立てていました。

次にテクSPORTに行きました。海外からもたくさんの人が来ていました。きかいの説明をする人は日本語がとても上手でした。動画のクレーンを使ってボールを運ぶゲームをしましたが、うまくできませんでした。

昼ごはんが食べた後に、BEMACに行きました。そこでは船に使う電気のそうちを作っていました。人間でいうと心ぞう部になるそうです。BEMACでは日本だけでなく外国にもせい品を送っていました。電気自動車は、かんきょうにもよく、スムーズに走れました。

次も行きたいです。



ふねはいろいろな人が協力してつづっていることがよく分かりました。

ふねを作るときに部分ごとに分かれて部品を作つて、ふねをつづっていることが初めて知りました。

ふねをつくるには2年間くらいかかるそうです。

ふねは少しでもまちがえるとたいへんな事になることが初めて分かりました。

ふねのそうじゅうはとてもむずかしいとわかりました。



わたしは、バリシップにさんかするのが初めてなので今治造船に行くまで、バスの中ですごく楽しみでした。

けんぞう中の船のそこをはじめて見ました。

とても大きくて、プロペラも見上げました。

ビーマックでは、はいせんがたくさんあり作ぎようしている人たちは、すごいいました。船のそうじゅう体験が楽しかったです。また、じかいもさんかしたいです。



いろいろな場所を見学をして、1番ビーマックでの説明が心に残りました。

船の部品を作るきかいがとても大きかったです。

2つめは新来島どつくです。ふだん見られない船を近くで見ることができたからです。あまり船を見たことがないのでとても大きくてびっくりしました。船を作る道具はとても大きくて、色もしっかりぬっていました。ぞう船所は、とてもいそがしい仕事場だと思いました。今まで船のまわりはあまり気にしていなかったのに、次に乗る時は周りをいっぱい調べたいです。いろいろ体験をして楽しかったのでまた行きたいです。



船はコンピューターで設計を作つて設計の完成までには1年かかるのがびっくりしました。

他には鉄板は曲げるのに水も使うことや部品は車1台分の重さなのがとてもおどろきました。船のてっぺんから下の階に下りる時とても高くてひやひやしてこわかったです。

船の中には食どうや台所があつたりしてとても広くてまいごになりそうでした。

今まで遠くからしか見たことがなかったのにスケールの大きさにおどろいた1日でした。



バリシップに参加して大きく、安全な船を作るために、すごく時間がかかることを教えてもらった。

船には、いろんな仕組みや役割があつて、その1せきの船を作るためにたくさんの人が一生けんめい考えて協力して作っていることがわかった。

広い海にいつもどうどうと走っている船はカッコいい。

ぼくもいつかあの大きな船に乗って世界1周してみたい。



私はこのバリシップ見学会をとおして、たくさんのことがわかりました。

1つ目は、潮冷熱新都市工場で働いている人がくわしくおしえてくれました。工場の中に入って大きなエアコンがありました。そのエアコンは、わたしたちが使っているエアコンの45個分の冷風が出てくるそうです。船の中や、小さなマンションをすべていきいきに冷やせるそうです。スタンプラリーもできてフローズンがとてもおいしかったです。

バリシップ展示会場では、たくさんの会社が来ていて、すべての会社の人がやさしくて自分の会社のことをたくさん教えてくれました。おもしろい人もいて元気が出ました。ぞうせんじよには名前のわからなかった道具もわかるようになりました。うれしいことがたくさんあつて思い出になりました。

バリシップ展示会場でたくさんの会社に人が小学生むけにおかしをよういしてくれていて、そのほかにはあつかったののうちわをだしてくれたり、ジュースをついでくれたり、塩あめをくれたのがうれしかったです。

次のバリシップにもはやく行きたいという気持ちになりました。



造船所に行ったときは船がものすごく大きかったのでびっくりしました。船にはたくさんの工夫がされていてすごかったです。

出航するところも見ることでよかったです。

自由時間のときに遊べて楽しかったです。テクSPORT今治では海に関係する仕事をすることがたくさんできていました。船のことがたくさん知れてよかったです。めったに見れない造船所の見学ができてよかったです。

これからは船のことにもっと疑問を持って、インターネットや本でそのことを調べて活用できるようにしたいです。





新来島どっくでは、造っている船の大きさにとってもおどろきました。こんなに大きな船を動かすのには、どれくらい力があるのだろうと思いました。何と船のエンジンは、自動車40台分の馬力があるそうです。想像以上のかでした。

バリシップ展示会場では、船の部品や電気を取りあつかっている様々なブースがあり、船はたくさんの会社の協力によってできていることがわかりました。また、そこでいろいろなグッズをもらうことができうれしかったです。

BEMACでは、船の電気関係を主にやっていて、この会社があるからより良い船ができるのだと感じました。また、建物が船の形をしていてカッコいいなと思いました。

今治市は、日本で有名な造船の町です。こんなすばらしい町を大切にするとともに、さらに発展してほしいなと思いました。



私はバリシップに参加して、海に興味を持ちました。海は日本や地球に、とても大切ということを勉強しました。わたしは、バリシップに参加する前は、海は少し大切だなと思っていました。海にはきけんなものもあるから、すこし、いやでした。でも、海がなかったら魚が死んでしまうし、暑いときも海に入れません。なので、海はとても大切なことがわかりました。

私は、海の仕事にも興味を持ちました。しょう来、安全に運転ができる船長さん、みんなに安全ののってもらうための船を作る人や、海で事故にあっても助けられる海上じえい隊になりたいです。



初めてバリシップに行きました。「うしおれいねつ」の工場では、会社や工場内をみんなで楽しくクロスワードの答えをときながら、スタンプラリーをしました。全問正解して、大好きなからあげとジュースをもらって、みんなで食べました。

次に行ったのが、てんじ会場での見学でした。

人がたくさんいて、ちょっと回りにくかったけど、木で船を造る体験できました。ゴムが動力で進む船で、上手に作る事ができました。家で泳がせてみようと思います。

最後にひがき造船に行きました。広い工場でもとても大きな船を造っていました。また、新しい船の中を見学させてもらえました。そして、高所作業車に乗ることができました。下を見ると人がありんこのように小さく、びっくりしました。風が気持ちよかったです。

疲れたけど楽しくて、バリシップに行ってもよかったです。



バリシップをつうじて、いろいろなことを知ることができました。

海の仕事の種類もいっぱいあってふねを「つくる」仕事とふねを「うんでんする」仕事では、ふねを「つくる」仕事のほうをやりたいなとおもいました。そして、バリシップに行ったことで、海の仕事をやりたい気持ちがとてもわいてきました。そして、海はとても大切だな、とも思いました。海の仕事もたくさんあるけど、どの仕事もやりがいがある、とてもすごそうだなと思いました。これからもうみを大切にしたいです。



わたしがバリシップに行ったら一番心に残った事は、バスにのりたくさんの会場をまわったことです。それぞれの会場には、子どもから大人まで楽しめる工夫がしてありました。待っている間も友達とラグビーボールをいれて遊ぶゲームをしたり、おかしやグッズをもらいました。

バリシップ会場の中に入るとたくさんの国の会社が色々な船に関する部品や新しい商品を展示していました。船のそうじゅう体験などもありました。カンバッチを友達といっしょに作ってもらってとてもいい思い出になりました。色々なものや資料をもらって楽しかったし、工場見学で船の部品を見たり、建造中の35,060トンの重さの船を近くで見ると、迫力があって印象的でした。



今回、バリシップに行っておどろいたのは、海の仕事はエンジンを作る人もだし、船を所有するのも海の仕事だと今分かっておどろきました。海の仕事と一言にいっても、ものすごくたくさんあるんだなと思いました。

工場の内部まで見せてもらったのですが、個々の機械が大きくてすごいなと思いました。

あと、テクスポートではいろいろな会場があつてこんなにも今治には海に関する会社が多いのかとおどろきました。

次、またこのような機会があつたら、参加したいです。



この間は、バリシップの見学をさせてくださりほんとうにありがとうございました。ございました。

ひがき造船ではたくさんのクレーンがあり、そして船がしずんだ時には、小さな船が助けてくれることがわかりました。

ビーマックはみらいの船を考えて作られた建物でおどろきました。船の操じゅう体験は、すこしむずかしかったけど、いい体験になりました。

展示会場では、とても大きなシャクルがあり本物かと思ったらにせ物でもわかるかったです。木で船を作りました。少しねじでこていするのは少しむずかしかったけど、作ることができてよかったです。ひがき造船、ビーマック、展示会場どこも楽しかったです。

フジグランの中にもたくさんの体験がありました。私は静岡から来た人の海草でキーホルダーを作るのをしました。これもおもしろかったです。



船のことがいっぱい知れてよかったです。

スタンプラリーなどでさがしながら、船のひみつなどがわかりました。

船のセレモニーを見ました。船はとっても大きかったです。作っているとちゅうの船も見ました。他の場所で部品を作って、船がある場所にはこんできて、組み立てているので1ヶ月とちょっとで大きい船ができあがってすごかったです。

最後に、いろいろな店がたくさんならんでいる所に行きました。ポンポンレースやVRたいけんなどがありました。気になったことやふしぎだったことをたくさんおしえてくれました。バリシップについて船のひみつがたくさんわかってよかったです。またいつかはいっぱい話をききたいです。



檜垣造船では、船内を見学しました。

船内はとてもきれいで、ベッドがある部屋もありました。運転席には、いろいろな機械や、地図がありました。スタンプラリーなどでも楽しむことができました。

バリシップ2019展示会場では、ポンポン船レースがおもしろかったです。他にももうごくレーンや、船づくりなども体験できました。

このバリシップを通して改めて船の大切さや、おもしろさ、しくみなどを学びました。



今回のバリシップは、前回とくらべてパワーアップしたような気がしました。

電動三輪車にのせてもらったり、船づくりを見たり、とても楽しかったです。

芝っ広場では、おいしそうな食べ物がたくさんあって、オムそばとタピオカジュースを食べたり飲んだりしました。とてもおいしかったです。

テクスポートでは、かんバッジをつくってもらいました。とてもきれいにできていてすごかったです。

また、バリシップに行きたいと思いました。



ビーマックでは、エンジンなどの部品などが見れておもしろかったです。ビデオなどで分かりやすく解説してくれておもしろかったです。

新来島どっくでは、船のいろいろな部品が見れて、プロペラが大きくてびっくりしました。船の先たんがまるくてびっくりしました。最後のバリシップでは、いろいろなイベントがあって楽しかったです。バリシップのおかげで、船の大切さがわかりました。



僕はバリシップ2回目なのですが、1回目でわからなかったことを教えてくれました。またバリシップを通していろんな人と交流が深められました。

また、新来島どっくでは、とてもスケールのある船を間近で見れたので良かったです。

BEMACでは、ふだん見れない電気回路などが見れたので、とても貴重な体験ができました。

また、テクスポートには、いろいろな会社が集まって、いろいろな事を教えてくれました。この体験を通して、他校との交流や、ふだん分からないことを教えてくれました。

また機会があったら行きたいです。

今回はありがとうございました。



最初に、潮冷熱の見学をしました。入り口に、大きな豪華客船の模型がありました。こんな船の冷蔵庫やクーラーを作っている会社だと知ってびっくりしました。

見学には、スタンプラリーやクロスワードパズルなど、いろいろな仕掛けがあり、楽しく遊びながら隅々まで見学できるよう工夫されていました。

バリシップ展示会では、船のエンジンや部品など、内部構造を見学しました。とても小さな部品もあり、船の精密さが分かりました。

檜垣造船では、船の操縦席を見学しました。レーダーやコンピューターなど多くの装備があり、とても難しそうだと感じました。また、1枚2tもある巨大な鉄板を切ったり曲げたりしながら、多くの船の部品を作っていることに驚きました。

今治は、日本一の海事都市と聞いていましたが、バリシップに参加してその事を実感しました。

僕のバスでの中学生は僕だけだったので、もっと多くの中学生が参加したらよいと思いました。僕は7月に飲食店で職場体験をしますが、今回は船の製造に関わる職業を近くで見学できて、とても良い経験になりました。

## 参加者まとめ

### SUMMARY OF PARTICIPANTS



### バリシップ2019参加者数 (単位:人)

■令和元(2019)年5月23日(木)~26日(日)

行事	内容	23日(木)	24日(金)	25日(土)	26日(日)	合計	
バリシップ2019	開会式	1,200				1,200	
	展示会	4,098	3,563	8,598		16,259	
	国際会議・セミナー・ウェルカムパーティー等	2,097	1,022	110		3,229	
	小計	7,395	4,585	8,708		20,688	
バリシップ見学会	工場・新造船見学会(5社合計)			9,364		9,364	
船上劇場「STU48号」 今治港寄港事業	入港歓迎式	200				200	
	一般公開		430			430	
	小計	200	430			630	
イベント	海のわくわく大通り	体験展示型ブース(フジグラン今治1F)	1,000	1,100	6,200		8,300
	まちなかワイワイ広場	飲食イベント・ステージイベント(ドンドビ芝っ広場)	1,260	3,110	5,260		9,630
	パナマ市500周年事業	パトリア・プリエグコンサート・パナマデー in今治				1,160	1,160
	小計		2,260	4,210	11,460	1,160	19,090
合計		9,855	9,225	29,532	1,160	49,772	

※人数は、各行事の延べ人数です。 ※展示会来場者は、再来場者・出展社を含んでいません。

### 展示会規模

- 出展社数 350社 (国内267社、海外83社)
- 出展した国・地域 16
- 【海外内訳】 カナダ3社、中国20社、デンマーク7社、ドイツ3社、マレーシア1社、オランダ1社、ノルウェー1社、パナマ1社、フィリピン1社、シンガポール6社、韓国32社、スイス1社、台湾1社、イギリス2社、アメリカ3社
- 会場使用面積 3,452㎡

### バリシップを振り返って

夏の暑さも一段落した8月下旬、バリシップ特別番組が無事に放映されました。前回までとは趣向を変えた内容にゴールデンタイムの放映ということで、より多くの皆様にご覧いただき、海事都市今治のことを知っていただけたのではないのでしょうか。

家に帰るまでが遠足、ではないですが、特別番組の放映を見届けるまでがバリシップ、という気持ちで取り組んでまいりました事務局にとっても、ようやくバリシップ2019が一段落したと安堵しつつ、この開催報告集を編集しています。

バリシップ2019では、新たな試みとして、昨年6月に船舶海洋工学センターを設立した愛媛大学工学部を始め、海事関係の短大や高専の学生をビジネスデーに初めて招待し、各企業のご協力のもと、工場見学も実施しました。

ほとんどの学生が初めてのバリシップだったようですが、見学中には担当者に質問したり熱心にメモを取ったりする様子も見られ、貴重な経験となるとともに、今治

の海事産業の魅力も感じていただけたと思います。

最終日のバリシップ見学会でも、参加した小中学生から、「海に興味を持った」「将来船の仕事がしたい」といった感想文をいただきましたが、バリシップの参加をきっかけに、5年後10年後、海事業界への就職を志望する若者が増えていくことを切に願っています。

さて、今回のバリシップは、展示会出展社数、参加者数ともに過去最大規模での開催となりました。バリシップ2019を迎えるにあたり、シャトルバスを増便、新たな駐車場用地を確保し、大きな事故もなく終えることができましたが、交通渋滞等、改善すべき課題は引き続き残っています。

これからも、出展社、来場者、その他ご協力いただく関係者の皆様にとってより良いバリシップとなるよう、事務局一同知恵を絞って考えてまいります。

最後に、バリシップ2019に関わった全ての皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

そして、次回のバリシップもよろしくお願いたします。